

事業所規模別リスク動向の分析 ～平成24年度 生活習慣病予防健診結果より～

全国健康保険協会 本部保健第二グループ
山崎衣津子



目 的

協会けんぽの加入事業所は被保険者数
10人未満の事業所が3／4を占めている。
事業所規模別の健康状態の特徴を明らか
にすることで、事業所規模に応じた加入者の
健康づくりを考える基礎資料とする。

分析の概要

- 分析対象

平成24年度に協会けんぽが実施する生活習慣病予防健診を受診した者のうち、年齢、性別、事業所規模データに欠損のある者を除いた約620万人

- 方法

メタボリックシンドローム関連リスク(腹囲、血圧、代謝、脂質、メタボリック予備群、メタボリック、喫煙)の保有者割合を事業所規模別に年代別、性別の分析を行った。分析はExcel2007を用いて χ^2 検定を行い、有意水準1%とした。

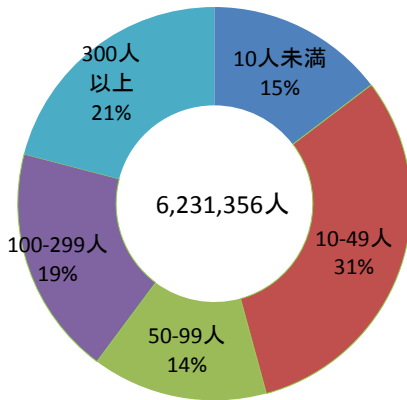
事業所規模データは平成25年3月時点とした。

用語の定義

(1)事業所規模	・事業所に使用されている被保険者数
(2)生活習慣病予防健診	・協会けんぽが被保険者を対象に実施している健康診断。 対象年齢35～74歳。
(3)腹囲リスク	・内臓脂肪面積が $\geq 100\text{cm}^2$ ・腹囲 男性 $\geq 85\text{cm}$ 女性 $\geq 90\text{cm}$
(4)血圧リスク	・収縮期血圧 $\geq 130\text{mmHg}$ または拡張期血圧 $\geq 85\text{mmHg}$ ・高血圧に対する薬剤治療あり
(5)代謝リスク	・空腹時血糖 $\geq 110\text{mg/dl}$ またはHbA1c $\geq 6.0\%$ ・糖尿病に対する薬剤治療あり
(6)脂質リスク	・中性脂肪 $\geq 150\text{mg/dl}$ またはHDLコレステロール $< 40\text{mg/dl}$ ・脂質異常症に対する薬剤治療あり
(7)メタボリック予備群	・(3)かつ(4)～(6)のうち1項目に該当
(8)メタボリックリスク	・(3)かつ(4)～(6)のうち2項目以上に該当

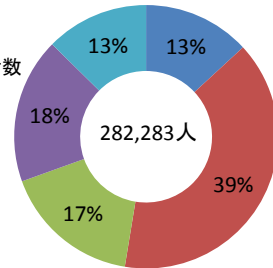
分析対象者(平成24年度生活習慣病予防健診受診者)の概要①

①規模別人数割合

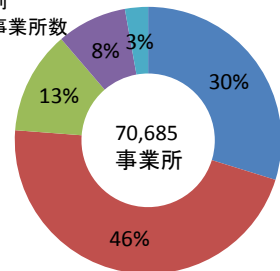


【参考】

事業所規模別
保健指導受け入れ者数

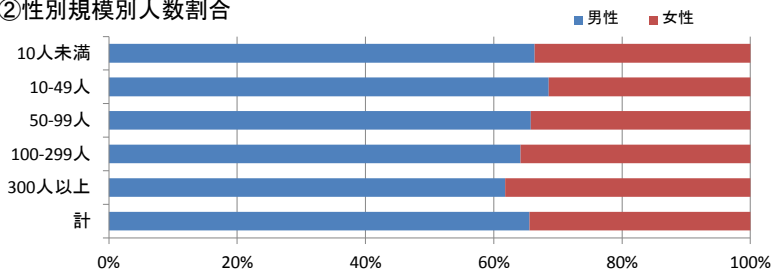


事業所規模別
保健指導受け入れ事業所数

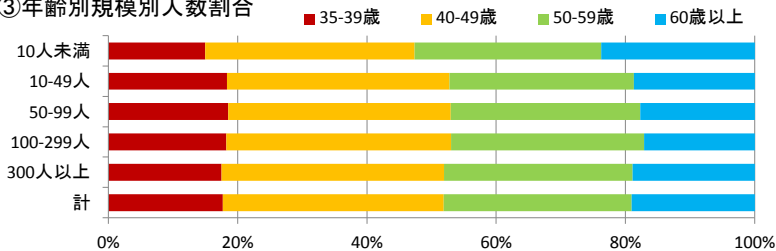


分析対象者(平成24年度生活習慣病予防健診受診者)の概要②

②性別規模別人数割合

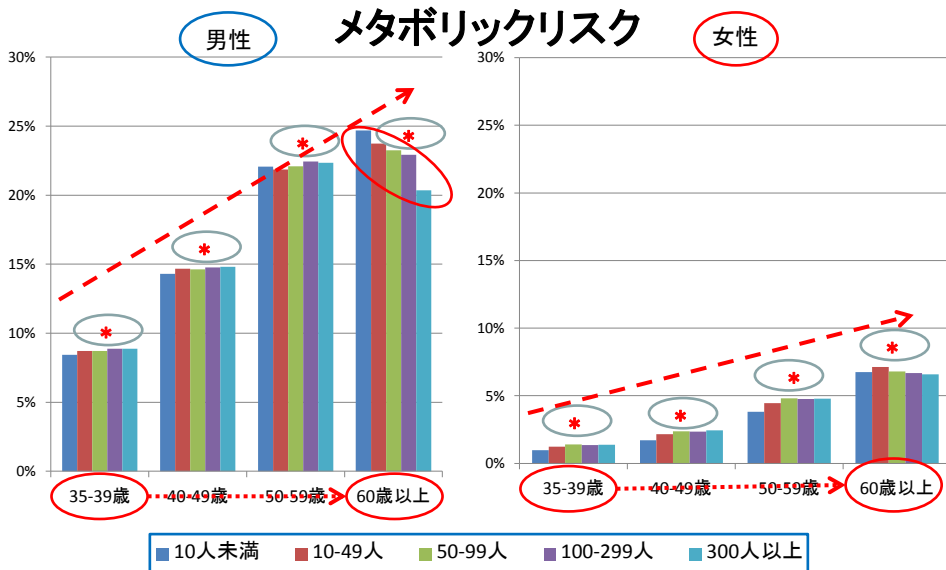


③年齢別規模別人数割合



分析結果

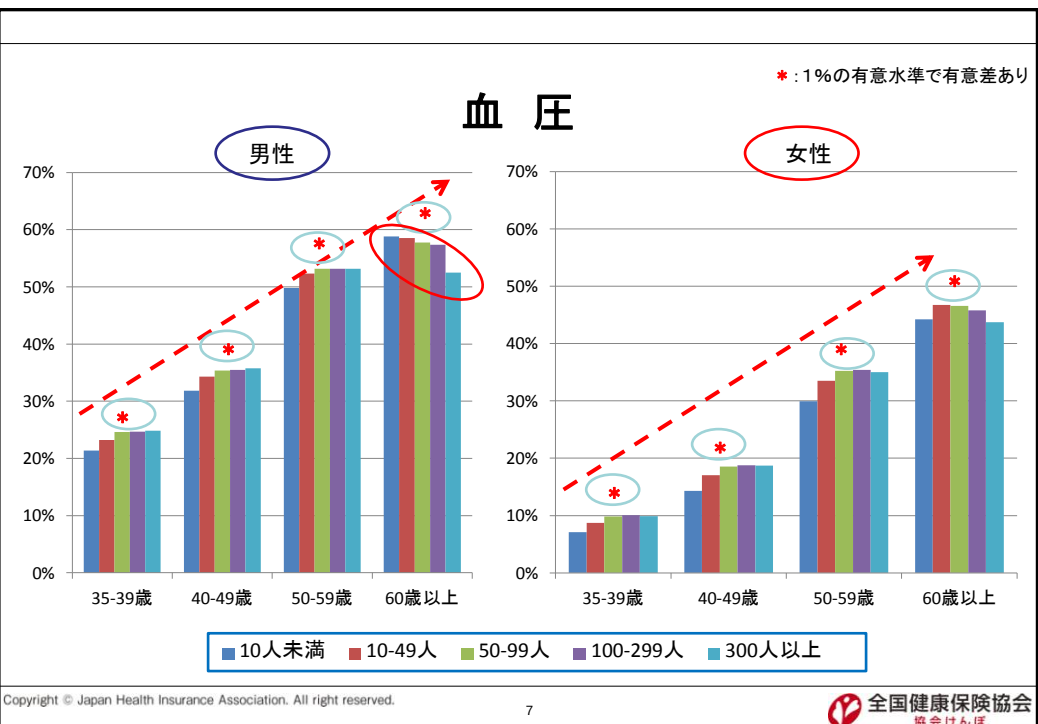
* 1%の有意水準で有意差あり



Copyright © Japan Health Insurance Association. All right reserved.

6

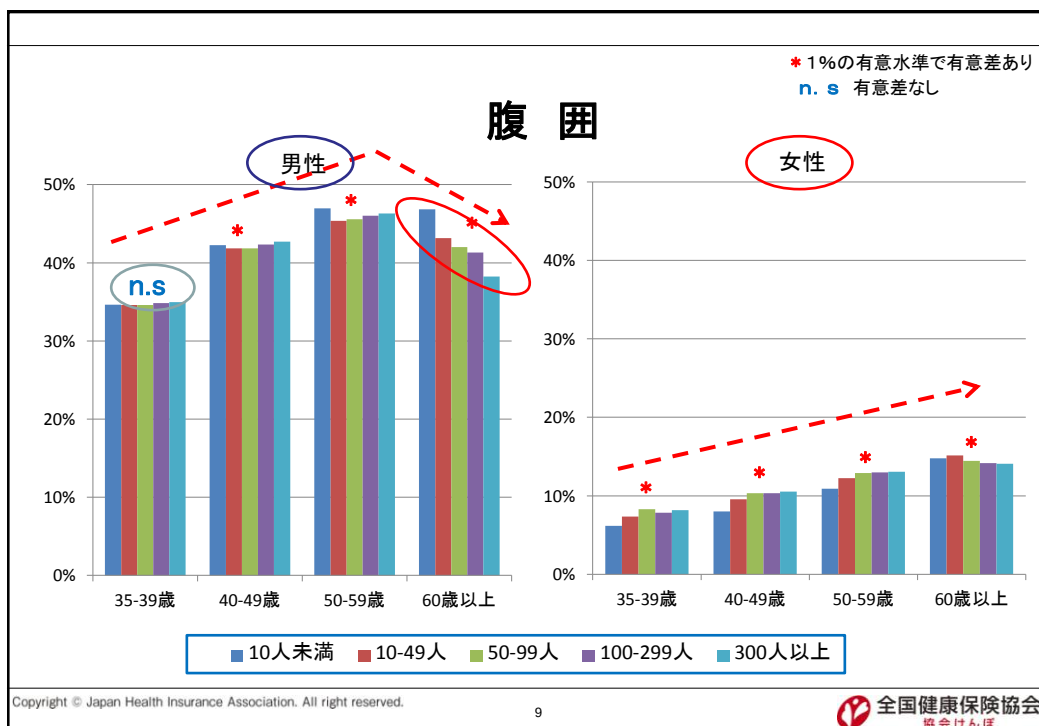
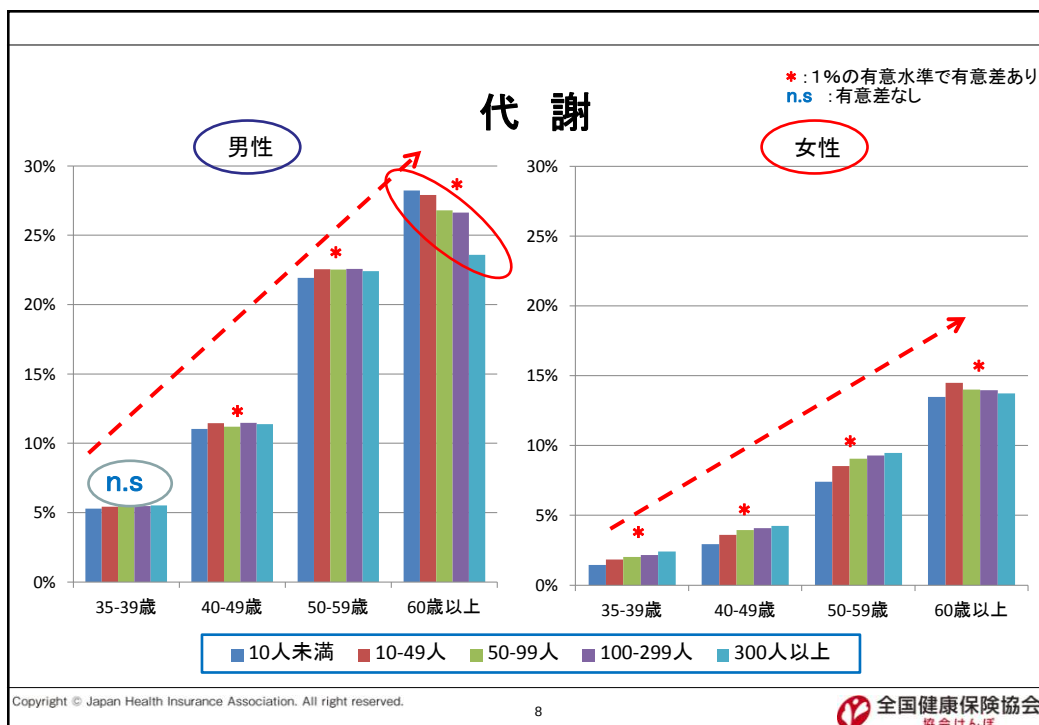
全国健康保険協会
協会けんぽ

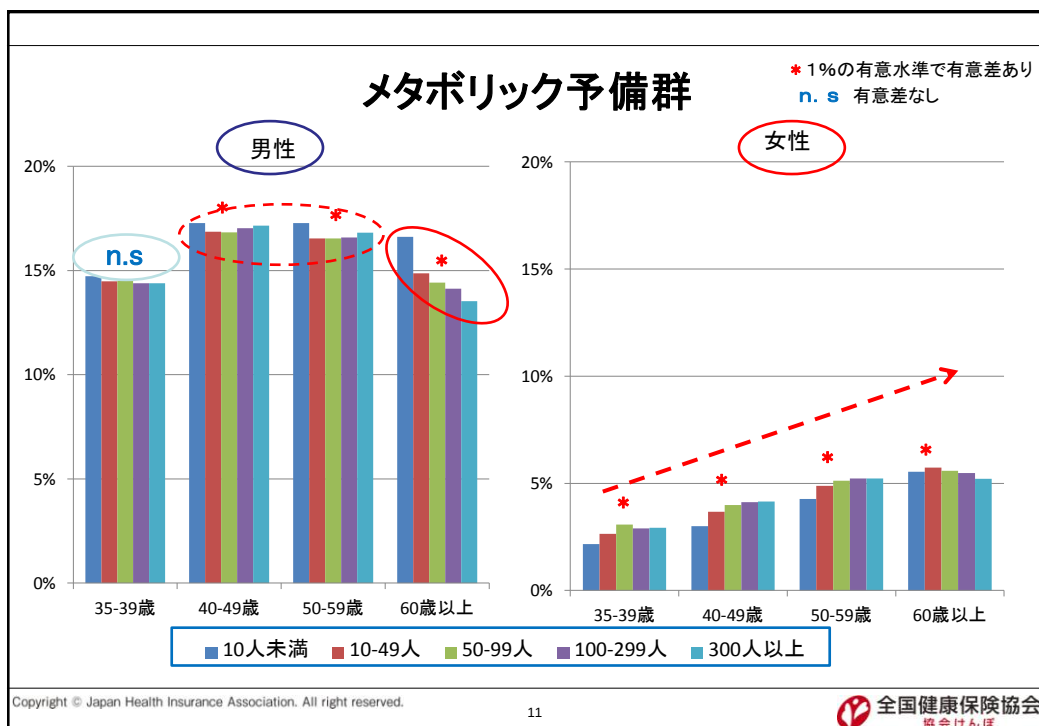
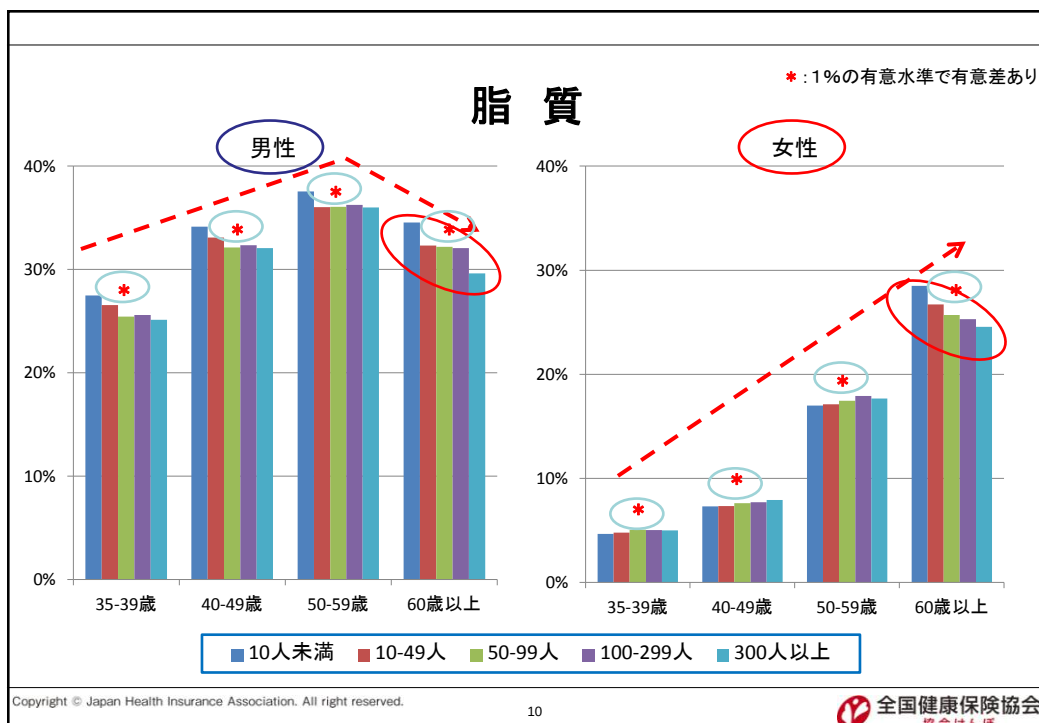


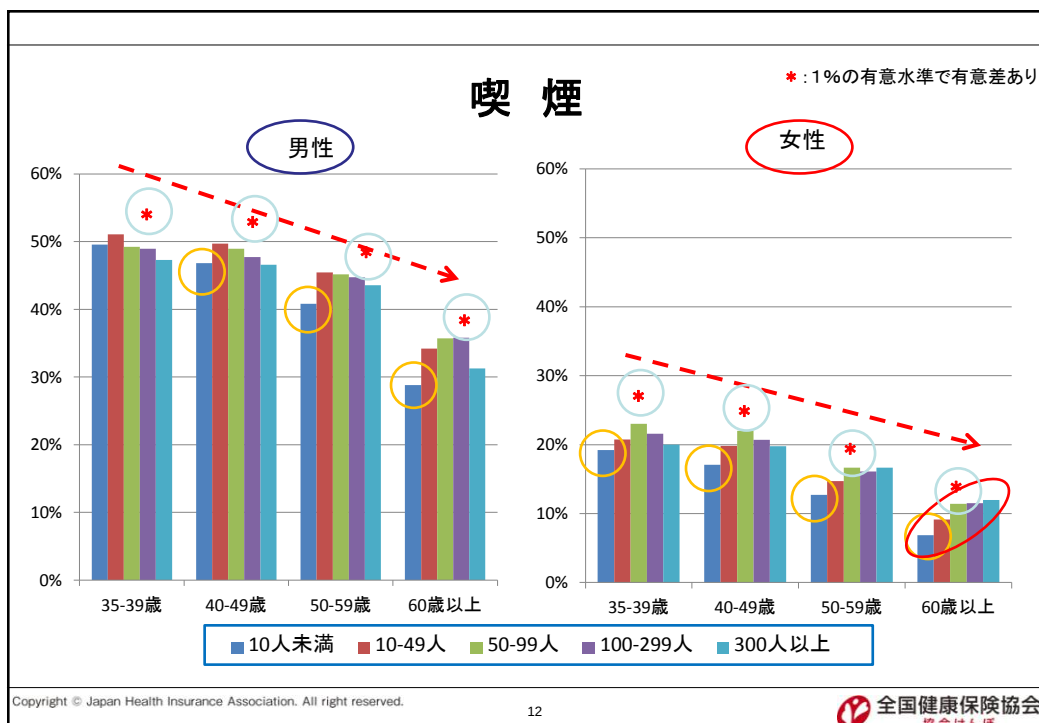
Copyright © Japan Health Insurance Association. All right reserved.

7

全国健康保険協会
協会けんぽ







12

考察

- 事業所規模によってリスク保有者割合に有意な差が見られた。
⇒有意差が生じている背景については更に詳細な分析(業種・業態、地域、生活習慣など)が必要
- 60歳以上になると事業所規模別にリスク保有者割合の差が大きくなる。
- 60歳以上では事業所規模が大きいとリスク保有者割合が少ない。
⇒60歳以上になっても差が大きくならないために、若い世代からアプローチが必要。
⇒中小規模の事業所に対する保健事業を大切にする。

**中小規模の事業所に保健事業を実施するには
事業主との連携が欠かせない。**

13

今後の課題

- ・事業所規模によって健康状態に差が生じていることは分かったが、事業所規模別の特徴を明らかにするまでに至らなかった
- ・リスク保有者割合の差が生じている要因について事業所規模のみで説明することには限界がある



更に詳細な分析(業種・業態、地域、生活習慣等)を進め、加入者の健康づくりを考えて行く